

バレエサマースクール

2022

体験談



ビクトリアアカデミーオブバレエ



アルバータバレエスクール



ロイヤルウイニペグバレエスクール



アナハイムバレエ



ブルーガーバレエアカデミーオブダンス



A&A バレエ



プロのバレエダンサーを目指す方、バレエ教師になりたい方 アドミッション留学センターはあなたの夢を応援します

The Admissions Company Limited has the experience and dedication to provide the best support for dance students searching for the school which fits their individual talents and their dreams for the future.

The word ‘Art’ is defined in the dictionary as “the quality, production, expression, or realm, according to aesthetic principles, of what is beautiful, appealing, or of more than ordinary significance.”

I believe that the performing arts are the most comprehensive form of art and expresses the sensibility of human beings. Dancers perform on stage in limited space, showing movement combined with music and storytelling, using the human body to transport the audience through time and space.

Most ballet companies now in the 21st century require dancers to not only be trained in classical ballet but to possess the technique and

experience needed to perform in a wide variety of dance styles. These styles include modern, contemporary, character, and jazz.

Students who want to become professional dancers need intensive training from the most qualified teachers, in the finest environment, during their formative teenage years.

There are several ballet schools and dance schools that we can recommend. These schools train students to aspire to be professional dancers using established methods such as Cecchetti, R.A.D and Vaganova.

The Admissions Company Limited will help you find the best school for your personal training and education needs, which will open the door to your dream.

Masami Kobayashi

President of The Admissions Company Limited



Photo by Leo Yukari

アドミッション留学センター

取締役

小林 正己

「芸術」という言葉を辞書で調べると、「特定の材料、儀式などによって美を追求・表現しようとする人間の活動」とあります。

バレエ、ダンスなどの舞台芸術とは、「舞台という場所を使い、音楽と物語を融合し、人間の肉体を使い、観衆に時間と空間を超えて表現する総合芸術」ではないでしょうか。

現代のバレエ団では、クラシックバレエが踊れるだけでなく、モダン、コンテンポラリー、キャラクターダンス、ジャズなどの幅広い能力が求められます。

プロのバレエダンサーを目指すには、10代の成長期に専門家から適切な指導を受けることが望まれます。

海外にはチェクェッティ、R.A.D.、ワガノワなどの確立されたメソッドに基づいてプロのダンサーを育てるバレエスクール、ダンススクールがあります。

アドミッション留学センターは、あなたの夢を叶える素晴らしい留学先をご案内いたします。



私はアドミッション留学センターを推薦します。

アルバータバレエスクール/トレーニープログラムディレクター/シニアプログラム教師
アラーム・マニュキャン



2022年5月4日/関係者各位

私アラーム・マニュキャンは、カルガリーにあるアルバータバレエスクールのトレーニープログラムのディレクターおよびシニアプログラムの教師です。過去15年間アルバータバレエ団の芸術コーディネーター、アルバータバレエIIのディレクターとして勤務しております。その間プロのダンサーを目指す若い生徒を送り出すさまざまなエージェントや代理人と交流をしてきました。

アドミッション留学センターおよびその責任者である小林正己氏は、ほかのエージェントや代理人とは一線を画していました。私たちはアドミッション留学センターが非常に信頼でき、思いやりがあり、高い専門性を持っていることを知りました。学生へのサポート、継続的なケア、関係者間のコミュニケーションは素晴らしく、常に生徒に優れたサービスを提供していると感じています。私はこのアドミッション留学センターを強く推薦します。

もしこの素晴らしい会社および小林正己氏についてご質問がありましたら遠慮なく私に連絡してください。

アラーム・マニュキャン

ディレクター

アルバータバレエスクール・トレーニープログラム



Study in Performing Arts▶



アドミッション留学センター代表
小林正己(右から2番目)



アナハイムバレエのサマースクール



渡邊 杖 様

僕は留学オーディションを受けアナハイムバレエスクールよりスカラシップを頂くことができました。期待や希望を胸に飛行機に飛び乗ったあの日のことを僕は生涯忘れることはないと思います。

アメリカでは、ホームステイだったのでホストファミリーと会うまでとても緊張しましたが彼らはとても親切で英語を話せない自分にも話しかけてくれ家へ向かう途中からと

ても仲良くなりました。スタジオでもスクールの生徒が次々話しかけてくれ慣れない英語やアメリカ人のノリに最初はついていけない気がしましたが、こちらの様子も気にせずとても仲良くしてくれたのでいつか僕もそのノリに乗って仲良くなれました。

ここでは勿論バレエが基本では



ありますがジャズ、タップ、キャラクターダンス、ヒップホップ、モダン等を学ぶ時間があり毎日9:30～18:00ぐらいまでレッスンでしたがとても充実していたので大変だと感じた日は一日もありませんでした。

また休日はホストファミリーに様々な場所に連れて行ってもらいアメリカという国を教えてもらいました。

最終日に発表会があり毎日リハーサルも行いました。初めての野外ステージで大好きなバレエを踊りながら外の空気を吸う感覚はまさに最高でした。踊るということの奥深さ、表現する楽しみを教わりました。その経験を利用して自分のバレエを作り上げていこうと思います。

このような経験をさせてくれたラリー先生には感謝しかありません。いつかこの恩も何かの形で返せたら嬉しいです。





A&Aバレエサマースクール



田口 慶子 様

私はA&Aバレエのセッション1に参加しました。クラシック、ポワント、パートナーリング、レパトリー、ピラティス、コンテンポラリーやキャラクターのレッスンがありました。クラシックのクラスではどのように上体を使うのか、音のアクセントの取り方、上半身と下半身の連動性、パとパの間のつなげ方などとても細かいところから指導して頂き、毎レッスン多くの事を学べました。先生のバーの組み立ては私にとって新しいチャレンジの連続でしたが、とても楽しくトライ出来ました。先生からのグッドの声掛けがとても励みになりました。コンテンポラリーのクラスでも素早い動きを音に合わせて表現する難しさを感じました。1週目のレパトリークラスではニューヨークシティバレエのソリストのIsabella LaFreniereさんのクラスを受講でき、チャイコフスキーパドドゥ、スターズアンドストライプス、火の鳥などのバラシンの作品を学びました。ディレクターのレパトリーではBule velbetと言う踊りをしてLudmila先生のレパトリーではエスメラルダの作品の一部を教えてくださいました。5週目にはABTのレパトリーディレクターである



Carlos Lopez先生にパドトロワ第3やキトリの友人の踊りを直接学ぶことが出来ました。どの先生もステップやカウント、目線や上体の使い方一つ一つを丁寧に教えて頂きました。キャラクタークラスは初めてする動きやステップばかりで不安でしたが、Ludmila先生が身体の付け方やステップの踏み方、手の使い方を一から教えてください大好きになりました。パフォーマンスのために生徒皆で一つの作品を仕上げていく過程での協力が素晴らしいカタチになった時の達成感は大きかったです。

初めての自炊は大変でしたがとてもよい経験になりました。現地に詳しいスタッフさんや生徒さんも皆さん、親切で買い物に付き合っ

てくれたり、何か困れば相談にのってくださるので安心して生活できました。休みの日はシカゴ美術館に行くことが出来、沢山の有名な作品をその空間で観覧し素晴らしい経験をしました。広くて一日では全てを観ることが出来なかったので必ず又、行きたいです。

ここでは先生方全員が惜しみなく生徒の上達をサポートして下さるので学ぶ時間は短期間でしたが先生方への信頼はとて強くなりもっと先生方から学びたい気持ちは大きくなりました。ここで学ぶ機会を与えてくれたAlexei先生、Anna先生を始めA&Aの先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。ここで学んだ事を活かせるようにこれからも頑張ります。





宮川 蒼乃 様

2022 A&Aバレエサマースクールに参加しました。

1週目：今週はYAGPアシスタントディレクターのAlexei先生でした。アームスの使い方や音の取り方、正しいプリエなどを教えていただきました。

周りの子は、自由に動く時も振りを与えられた時も、踊りに自分らしさがあります。私もただ振りを踊るだけではなく、個性を大切に頑張ろうと思いました。

自炊や洗濯、掃除など大変ですが、とても良い経験になっています。日々当たり前にしてくれる母に感謝の気持ちを改めて伝えようと思います。

2週目：だいぶ生活に慣れてきて、自炊も楽しくできるようになりました。

レパートリーはネオクラシックの作品を教えてもらっているのですが、難しくて振りを覚えるのに苦労しています。

3週目：今週は、ニューヨークシティバレエのGonzalo先生に教えていただきました。一つ一つの動きの繋ぎ方や音の取り方、自分が大きく見えるような魅せ方など多くの学

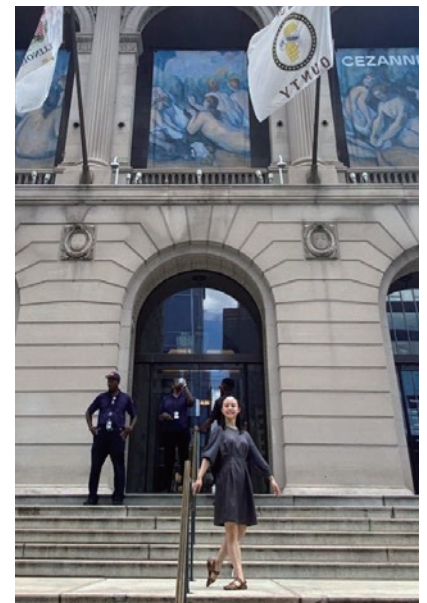


びがありました。

4週目：最終日はパフォーマンスで沢山踊りました。少ない練習量でまとめることや体力的にとっても大変でした。

1ヶ月間、本当に多くの学びがありました。自分らしく個性を出して踊ることの大切さや、自分が今後もっと練習するべきことが明確になりました。また、自炊や洗濯などの生活面や精神的にも成長できたと思います。留学に送り出してくれた両親や、留学までに沢山ご指導くださった先生方、サポートしていただいたアドミッションに感謝で

す。今回学んだことを活かして引き続き頑張ります。





吉田 和奏 様

私は、約1か月間アメリカ、シカゴにあるA&Aバレエスクールのサマーインテンシブに参加しました。

海外留学をするのは初めてで、すごく楽しみにしていました。

実際、想像以上に楽しく、バレエ留学としても語学留学としても、とても勉強になりました。

初めは、言葉の壁やレッスンの進むスピードについていくことに必死でしたが徐々に慣れていき余裕が出てきました。

レッスンは、バレエ・ポワント・レパートリー・コンテ・キャラクター・ピラティスがあり曜日によってクラスが違うのですが、中でも私が勉強になったクラスはコンテです。コンテは基本的にインプロビゼーション（即興）で、初めはユースカンパニーの生徒さん達に圧倒されて全く動けませんでした。それでもかというほど自由に動いていて、コンビネーションが素晴らしかったです。

サマーインテンシブの最後の日には、今まで学んできたヴァリエーションやコンテを保護者に披露する場がありました。ズームでの開催でしたがすごく楽しく、まるで発表会のようなものでした。



今回の海外留学で学ぶことが沢山あり自分でも自覚ができるほどの成長を得ることができました。頑張っついでいけばついでいくほど認めてくださる先生方やユース



カンパニーの生徒さんたちにたくさん引っ張って頂きました。

この貴重な体験と機会を与えてくださった沢山の皆様に感謝します。





阿部 百花 様

私は2022年3月の第7回チャリティーバレエコンクール出場にあたり、先生から「海外留学審査も受けてみたら?」とアドバイスをもらい、申込みをしました。結果、ビクトリアアカデミーオブバレエの留学許可をもらいましたが、留学日程が夏休み前の7月で学校があったため悩んでいたところ、アドミッション留学センターの説明会で事前オーディションが不要なサマースクールがあると分かり、カナダロイヤルウィニペグバレエ(RWB)のサマースクールに2週間参加を決めました。

RWBでは、バレエの他にジャズやモダンなどがあります。私はクラシックバレエ以外をやったことがなく、授業についていけない不安でしたが、毎日のレッスン



や教えてくれる先生方や友達に恵まれ、どんどん上達し、とても楽しかったです。英語でのレッスンにも最初は戸惑いましたが、日に日に慣れていき、同じクラスの外国の子達との会話も増えていき、不安から楽しさへと変わりました。

レッスンの後は寮内のラウンジで外国の子達と折り紙で鶴を折っ

たり、テレビで好きなアニメやミュージカルを皆で観たり、遠足ではボーリングやマーケットでのショッピング、ビーチで遊んだりもして、皆との仲がより深くなりとてもいい思い出になりました。

今回の留学でお世話になった全ての方々に感謝しています。これからも大好きなバレエをがんばっていきたいと思っています。





木村 朱杏 様

私は2022年の8月、カナダのウィニペグにあるロイヤルウィニペグバレエスクールのサマースクールに参加しました。

今回のサマースクールで新しいことがたくさん挑戦できました。様々なレッスンがあり、これまで体験したことのないフラメンコ・モダン・ジャズに挑戦しました。初めてだったので全然分かりませんでしたが新しいことができてとても良かったです。もちろんバレエのレッスンも毎日あ

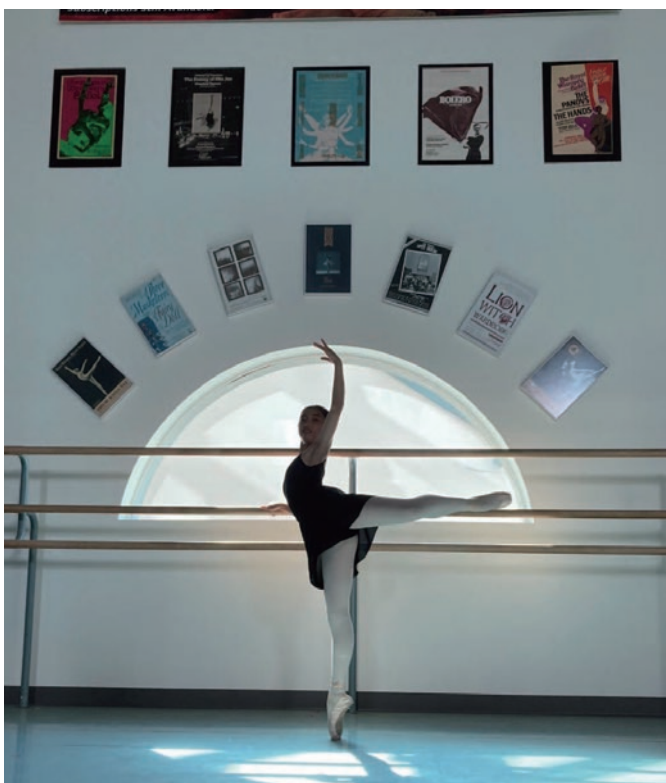


りました。日本では毎日レッスンはしてなかったので最初は疲れましたがカナダの生活に慣れて楽しくレッスンを受けることができました。どんな時でも全て英語なのでとても苦労しました。でも簡単な英語だけでも少し伝わったのですごく嬉しかったです。カナダの人達はとても優しく接しやすかったのが本当に良かったなと思います。たったの2週

間でしたがとてもいい経験になりました。

今回のサマースクールを忘れずに、これからも一生懸命切磋琢磨していきたいです。

コロナ禍でサマースクールがあるかどうか分からない中、このような機会を設けて頂き、アドミッション留学センターの小林様にはとても感謝致します。本当にありがとうございました。





畝川 未稟 様

私はロイヤルウィニペグバレエのサマースクールに参加しました。私は初めての海外でとても不安でした。でもウィニペグの空港に着いた時から寮のスタッフの人たち明るくお出迎えをしてくれたので安心しました。今回私が滞在した学生寮は新しくなっていてとてもキレイで快適に過ごすことが出来ました。ラウンジがあり現地で知り合った子

たちと交流できたことも思い出に残っています。学生寮とスクールが繋がっているので移動がしやすくてとても良かったなと思います。

バレエ漬けの毎日で大変だったけど自分を鍛えることが出来たので良かったです。日本とは違ってとても天井が高く広いスタジオでのレッスンだったのでのびのびと踊る事が出来ました。個性溢れる先生方ばかりでどのレッスンもとても楽しく学べる事が沢山ありました。特にモダンのレッスンは外国人の子達の踊りに圧倒され、真似をして踊っている時に先生に褒められた事は忘れられません。

ロイヤルウィニペグバレエスクールにはカンパニーのダンサーも同じスタジオで練習されているので廊下などでお会いする事も多々ありとても魅力的なスクールだなと

感じました。カンパニーの方のリハーサルを見学させてもらった時、動きの揃った力強い演技に思わず鳥肌がたっていました。

今回この2週間、スクールで学んだことはこれから自分を鍛えていくための大切な材料になったと思います。初めてで不安があっても挑戦することで最後には学んだことを自分の物にすることができたのでサマースクールに参加して本当に良かったです。



佐藤 煌 様

僕は今回この留学にきて、もちろんバレエのスキルも上がりましたが特に他の人とコミュニケーションをとるコミュカと寮で1人の部屋で2週間過ごしたことでタイムマネジメントや整理整頓など今後にもすごく必要な能力を鍛えることが出来ました。最初は自分と同じ教室の友達としか喋ることしかできませんでしたが、現地の人とは緊

張で全く話せませんでした。日にちが経っていくにつれて話せるようになっていきました。寮生活のいいところは日常生活と一緒に他の人と過ごすことで普段より早く仲良くなったり同じ趣味を見つけたりすることができるということです。僕も最初あまり話に行けませんでした。一緒にアニメを見たり生活していくうちに打ち解けることができました。そして寮生活で少し大変だと感じたのが、食べ物の違いと時差です。カナダにきた1週間目、食べ物の違いのせいで晩御飯を食べた後に体調が悪くなってしまったり、お腹が痛くなってしまうことがありましたし、最初の数日間は時差ボケがひどく、初日では荷物も広げずにベットに入るとすぐ寝てしまい、9:00に寝て夜の3:00に起きてしまうようなことが

起きていました。僕はカナダでは10年生の扱いなので1人部屋でしたが、意外と綺麗に保てていたと思います。バレエの面ではテクニックが前より断然上達したと思います。しかしやはり基礎があまりできていないので、筋力作りやストレッチなどをもっと積極的にやっていたいと思います。今回の留学では様々なことを学ぶことができましたし、やはり寮でしか体験できないことがたくさんあったと思います。本当に今回のサマースクールに行けてよかったと思います。





川邊 椿 様

私はロイヤルウィニペグバレエスクールのサマースクールに参加しました。レッスンはバレエ、ポワント、バリエーション、フラメンコ、ジャズ、モダンとあったので色々なものやることができてとても楽しかったです。特にポワントクラスがきつくて、ひとつひとつの振り付けが結構長いのでいつもヘトヘトになっていました。バレエのレッスンでは、普段

やっているバーレッスンとは全く違う振り付けで複雑だったので少し苦戦しました。しかしみんなで振り付けを復習したりなど覚えられるように頑張っていくと、だんだんと動けるようになって少しずつですが自信を持って動けるようになれました。ほぼ毎日がレッスンの日々でだんだんと朝もすっきり起きられなくなってきましたが、もうすぐで帰らなければいけないと思うととても寂しく思ってきて、まだこの日常が終わ

ると思いたくない。まだまだ続いて欲しいと思ってレッスンしていたらすぐに帰る日になってしまいあっという間の2週間でした。初めての海外でたくさんの経験が出来ました。海外での感覚を忘れずにこれからも頑張りたいと思います。

アドミッション留学センターの小林さん、付き添いをしてくださった津原ありささん、アプリの入力を手伝ってくださった上野先生ありがとうございました。



中川 瑠佳 様

私は2022年のロイヤルウィニペグバレエスクールのサマースクールに参加しました。2週間という短い期間でしたが沢山のことを学ぶことができました。

クラシックだけでなく、ジャズやモダンなど普段受けることができないようなクラスを多くの素晴らしい先生方に教えていただきました。特にレパトリーのクラスでは、口

イアルウィニペグバレエ団で現役で踊っているバレエダンサーの先生に指導していただきました。また、ジャズやモダンのクラスでは、クラシックとは違った体の使い方や、力の抜き方を学ぶことができました。さらにバレエ団の方々と同じ施設で練習できたため、設備の整った環境で毎日練習することができました。バレエ団のリハーサルを間近で見学させていただいたり、日本人バレエダンサーとお話し

する機会を設けてくださったり、たくさんの貴重な経験ができました。今回の経験を活かし、より上達していきたいです。

海外のサマースクールに参加するのは初めてで不安もありましたが、学生寮も新しく、寮のスタッフも親切で食事もおいしく、快適に過ごすことができました。またアドミッション留学センターの方々、たくさんの先生方、ありがとうございました。





石塚 杏奈 様

私が今回留学したいと思ったきっかけは、小学生の内に一度海外のバレエスクールに行ってみたいと思っていたからでした。そこからアドミッション留学センター様に巡りあい、Victoria Academy of Ballet (VAB) のサマースクールに参加させていただくことを決めました。コロナ禍で準備することが多く、両親に力になってもらったので、頑張って成長して帰るぞ!って思っていました。初日からホームシックになってしまい、VABの先生方やスタッフの方、在校生のお姉さん達、ホストファミリー、一緒に行った仲間達とたくさんの方に助けをいただき、楽しく過ごすことができました。クラシックのレッスンは、基礎をじっくり見てくださると体に負担をかけない方法を教えてください、足が綺麗になったりアラベスクが上がるようになったりして嬉しくなりました!クラシック以外のレッスンでは、キャラクターとコンテンポラリーが特に楽しみでした。キャラクターについては日本でやったことのない振り付けや難しいことを覚えること、コンテンポラリーについてはテーマを決めて即興をするレッスン、どちらもとてもワクワク



くしました。同じクラスのみんなとはランチ休憩の時に日本語と英語を教えあったりメールを交換したりレッスンの復習をしたりして、楽しく過ごしました。帰国した後もメールで交流が続いています。Victoria はとても綺麗な町でおしゃれなお店がいっぱいあり、路

上ライブをしてる人もたくさんいて、素敵な音楽を聴きながら歩くことが楽しかったです。

まだここにいたい!と思うくらい、とても充実した楽しい2週間でした。このような貴重な機会をくださったことを心から感謝しています。ありがとうございました。





佐伯 林太郎 様

僕は、7月に2週間、カナダのビクトリアアカデミーオブバレエのサマードンスインテンシブに参加しました。参加する前はホームステイが心配でした。何故なら日常生活を英語でおくることが心配だったからです。しかしステイ先には様々な国籍の人がいたけど、彼らが身振り手振りを使ってコミュニケーションを取ってくれたので楽しい時

間を過ごすことができました。

バレエのレッスンはとても勉強になりました。アドバイスを直ぐに実行することが日本語でも難しいのに、それを英語でやることが大変でした。しかしそれは日本に帰国してからのレッスンでとても役に立っています。

サマーインテンシブでは基礎の大切さをあらためて知ったとともに、普段のレッスンの基礎のとらえ方が変わりました。カナダに行く前はバーレッスンはセンターレッスンのための準備だと思っていました。しかしVABでは、バーレッスンもトレーニングの一つだと感じました。帰国後はそれらを意識してレッスンに臨んでいます。

行きの飛行機から見えたビクトリアの島々の景色はとても綺麗で圧倒されました。この素晴らしい環

境で2週間レッスンに参加出来てとても良い経験になりました。

ホームステイでの生活は自分で時間を管理することなどを学びました。帰国してからはそこはいかせていると思います。

このプログラムに参加するにあたって手配をしてくださったアドミッション留学センターの小林さん、現地コーディネーターの岸田さん、ステイ先のジャネットさん、VABの先生方、ほか協力してくださった方々に感謝します。最後に、送り出してくれた両親にも感謝しています。



高橋 莉娜 様

私は、7月17日から25日までの2週間カナダのVictoria Academy of Ballet (VAB) に短期留学として、バレエを学びに行きました。

日本の空港から出発する時は一人で行くことに不安を抱いていました。でも姉が写真を撮ったりしてくれたお陰もあり笑顔で出発できました。いざ親元を離れビクト

リア空港に着いた時には一緒に行ったお友達とも仲良くなれていて暖かな気持ちを感じていました。

空港でホストファミリーにあった時には少し緊張しましたがフレンドリーでとても良い人だなという印象でした。最初の頃は英語で何を言っているのか全く分からず、ホームステイ先にいたVABの日本人の生徒さんに通訳してもらったりしました。けれど、日を重ねるごとに何を言っているのか大体はわかるようになりました。

VABでは日本で通っているバレエスクールとは違うアクセントやパの単語で話しているので、時々理解不足になることがありましたが、ジェスチャーや翻訳機能を使って分かりやすく教えてくれました。また一緒にバレエを学んだ様々な人達がとてもフレンドリーに話しか

けに来てくれたので不安もなくなりました。

短期間でのバレエ留学でしたが、この経験は一生の宝物となりました。コロナ禍の中で行かせてくれた両親やバレエの先生に感謝して、これからもバレエを続けていきたいと思っています。





佐々木 真菜 様

私はビデオオーディションで合格を頂き、カナダのブリティッシュコロンビア州にある、ビクトリアアカデミーオブバレエのプロフェッショナルダンスインテンシブ2022に参加しました。

今回の留学で1ヶ月間、学校がある日はほぼ1日中バレエ漬けの日々を送るといふ今までに体験したことのないくらい幸せな時間を過ごせ、沢山のことを肌で感じる事が出来ました。

英語でのレッスンで完璧に聞き取ることができず、不安になったり落ち込んだりする日もありましたが、クラスメイトや先生方が沢山サポートしてくださったおかげで、誰かに頼るだけではなく、自分でやってみよう!と挑戦できるようになりました。この姿勢を忘れずに、これからも色々なことに挑戦していきたいです。

また、留学の間にコロナ陽性になってしまい、帰国が延期になりましたが、学校がレッスンも1週間延長の対応をして下さり、本来受けられないはずのジャズダンスのクラスを受講させて頂くことができました。

対応して下さった先生方には感謝してもきれません。



今回の経験を活かして、日々精進していきたいです。

そしてコロナ禍で海外へ行くことが困難な中、貴重な経験を頂き、アドミッション留学センターの小林

様、ビクトリアアカデミーオブバレエの先生方、日本のスタジオの先生方、両親には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。





南 和樹 様

僕は2022年1月に行われたオーディションを受け合格をいただきカナダ、ビクトリアアカデミーオブバレエのプロフェッショナルサマースクールに参加しました。僕はこのサマースクールに参加して、初めてコンテンポラリーを学びました。クラシックバレエとは大きく違い最初は困惑しましたが、先生方の的確な教えのおかげですぐに慣

れることができました。また同じクラスを受けた周りの人が優しくかったのも早く慣れることができた一因だと思います。レッスン中、先生がおっしゃった英語がわからないときは言葉だけでなく体でも表現していただけたので、心配することなくレッスンに集中することができました。レッスンは二種類あり、普段のレッスンと、サマースクールの終わりに開かれるデモンストレーションに向けた練習がありました。今回のデモンストレーションで僕たちのクラスはコンテンポラリーを披露しました。あまり激しい動きはありませんでしたが、とてもコミカルで面白かったです。

今回のサマースクールを通して、コンテンポラリー、英語、またカナダの文化など、新しいことをたくさん学びました。この経験をさら

なる飛躍のために生かしていこうと思います。貴重な学びの場を用意してくださったアドミッション留学センターの小林様への感謝を忘れず、これからもバレエを学びたいと思います。本当にありがとうございました。



福原 有佳子 様

私は今年、カナダにあるビクトリアアカデミーオブバレエのプロフェッショナルサマースクールに留学させていただく機会を頂き、夏の3週間の間、貴重な体験をすることができました。初め現地に行くまでは、バレエのレベルに不安もあり、違う環境の中で3週間、きちんと他の人についていけるか心配でした。ですがいざ現地に着

いてレッスンが始まると、レッスンのレベルの高さに驚きながらも先生方の丁寧な指導もあり、自分でも驚くほどのびのびと楽しむことができていました。また、アカデミーではクラシックの他にキャラクターやコンテンポラリーなど、1日に様々なレッスンを受けることができたためレッスン毎に違う先生方の指導を受けることができ、考え方や指導の違いをととても面白く感じました。特にコンテンポラリークラスでは、日本とはレベルの違う難しい色々な技を短時間で教わり、自作の作品を作ったりすることができました。自分たちのアイデアを組み合わせ作品を作るのはとても難しく、時には挫折しそうになったりしたけれど、その分完成した時に大きな達成感を味わえることができました。また、

ホストファミリーの方々もとても良く接して下さり、毎日お話をしたり、家の周りを探検してみたりするのが楽しくてすぐに時間が過ぎていました。不安が多かったのに、それを忘れるくらい楽しい経験をさせてくださった現地の先生方や友達に感謝し、これからの上達に繋げていけるように頑張っていきたいです。





2022年バレエサマースクール参加者



●●●●●●●●●● 海外留学相談室 ●●●●●●●●●●

ADMISSION™ **アドミッション** 留学センター

Study Abroad & Cultural Exchange

(大阪府知事登録旅行業第 3-1913 号 総合旅行業務取扱管理者：小林正己)

URL▷ <https://www.admission.co.jp>
E-mail▷ info@admission.co.jp



大阪本社	〒530-0001 大阪市北区梅田 3 丁目 4 番 5 号 毎日新聞ビル 4 階
TEL	【大阪】06-6455-1377 【東京】03-3253-6040
FAX	06-6455-1388